

控 用

記帳と帳簿書類の保存義務について

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方は、平成26年1月から、記帳と帳簿書類の保存が必要となりました。

○ 帳簿を備え付けて、収入金額や必要経費について、取引の年月日や金額等を記帳しなければなりません。

○ 帳簿や請求書・領収書などの書類を整理して保存しなければなりません。

令和 年 月 日 (自 月 日 至 月 日)

○申告には、必ず提出用を使ってください。

科目		目	金額		(円)
収入	賃	貸	①	5180000	000
	その 他の 収入	礼金・権利 更新・新 義書換 の 小計 (②+③)	②	4100000	000
		③		240000	000
		④		434000	000
金額	計 (①+④)		⑤	5614000	000
	給料	賃金	⑥		
	減価償却	費	⑦	1169900	000
	貸倒	金	⑧		
経	地代	家賃	⑨		
	借入金	利息	⑩	9000000	000
	租税公課		⑪	5060000	000
	損害保険	料	⑫	1080000	000
費	修繕	費	⑬		
	雑費	小計 (⑪~⑬までの計)	⑭		
			⑮	1200	000
			⑯	615200	000
経費	計 (⑤~⑯までの計+⑪)		⑰	2685100	000
	専従者控除前の所得金額	(⑤-⑫)	⑱	2928900	000
	専従者控除		⑲		
	所得金額	(⑬-⑭)	⑳	2928900	000
土地等を取得するための金額 要した負債の利子の額					

○減価償却費の計算

減価償却資産等 の名称 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得年月	①取得価額 (償却保証額)	②償却になる金額	償却方法	耐用年数	③償却率又は 改定償却率	④本年中の 償却期間	⑤本年の 普通償却費 (③×④×⑥×⑦)	⑥の 償却費	⑦割増 (特別)	⑧本年分の必要 経費算入額 (①×⑧)	⑨付合 割合	⑩未償却残高 (期末残高)	摘要
金策マンション	55.0㎡	年 月 R2.7	7,500,000円	7,500,000	定額	47年	0.022	6/12	82,500	—	—	82,500	100%	7,417,500	
木屑モルタル貸店舗	68.0	H24.7	7,200,000	7,200,000	定額	20	0.050	12/12	360,000	—	—	360,000	100	4,140,000	
木造建物貸家	60.4	H19.1	16,000,000	14,400,000	旧定額	22	0.046	12/12	662,400	—	—	662,400	100	6,726,400	
アスパルト敷		H18.4	500,000	25,000	—	—	—	12/12	5,000	—	—	5,000	100	5,000	均等償却
一括償却資産	—	R2.	180,000	180,000	—	—	1/3	12/12	60,000	—	—	60,000	100	120,000	
			()					12/12							
			()					12/12							
計									1,169,900	—	—	1,169,900		18,408,900	

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ①欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○借入金利子の内訳（金融機関を除く）

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	期 末 現 在 の 借 入 金 額	本 年 中 の 借 入 金 額	の 子 算 入 額	左 の 必 要 要 素
	円	円	円	円

○修繕費の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	工 資 材 名 の 品 名	支 払 金 額	日 月 日	左 の うち 経 費 算 入	要 必 入 額
		・ ・	円		円
		・ ・	円		
		・ ・	円		

○貸付不動産の保有状況（空家（空室）、空地を含めて記入してください。）

用途	用途・種類等		数量	用途・種類等		数量	用途・種類等		数量
	建物	一戸建 一戸建以外		建物	一戸建 一戸建以外		棟	室	
住宅用	建物	一戸建	棟	建物	一戸建	棟	建物	一戸建	棟
		一戸建以外	室		一戸建以外	室		一戸建以外	室
		契約件数	件		契約件数	件		契約件数	件
	土地	総面積	m ²	土地	総面積	m ²	土地	総面積	m ²

◎本年中における特殊事情・保証金等の運用状況（借地権の設定に係る保証金などの預り金がある場合には、その運用状況を記載してください。）

○税理士・弁護士等の報酬・料金の内訳

○地代家賃の内訳